東京広島県人会ニュース NeWs 43
Autumn 2012 Vol.14-No.2

春季役員懇親会

2012年5月21日（月）　東京ドームホテル 天空の間

去る5月21日晴れ、17時45分開場18時15分開会、東京ドームホテルで平成24年度東京広島県人会春季役員懇親会が約200人のご出席をいただいて和やかに進行した。

型どおりの進行であったが、湯崎英彦広島県知事の挨拶は、7月16日銀座にオープンしたブランドショップ“TAU”の開業に至る経緯、開業後の期待を含めた気持ちの入ったものであった。昨年の懇親会は東日本大震災の関係で中止も叫ばれた中での開催であったので、今年は出席者の懇談も充分に行われ、懇親会の名に相応しい集まりであったと自負している。

（次ページへ続く）

林有厚会長

浦上浩副会長

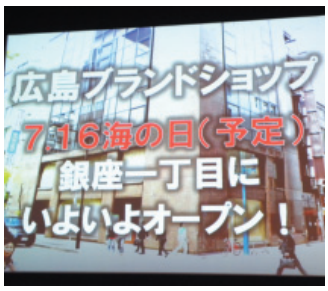
湯崎英彦広島県知事

林正夫広島県議会議長

江崎正行幹事長

広島県市町村長の方々

広島県からお越しいただいた方々



三次市、世羅町よりそれぞれワインのご協賛をいただき、またポッカコーポレーションからは広島レモン果汁を使った製品をご協賛いただいた。ザ・広島ブランドからも数々のご協賛をいただき、お土産としてお持ち帰りいただいた分に加え、会場にてご自由にお取りいただき好評を博した。県人会からのお土産は瀬戸田町パティスリーオクモトの「瀬戸田レモンケーキ“島ごころ”」。ネットでも大変話題となっている逸品である。

また、被爆体験の語り部沼田鈴子さんをモデルにした映画「アオギリにたくして」（来年公開）のプロデューサー中村里美さんより、映画製作にかける経緯と意気込みを語っていただいた。他には地元よりおしい！キャンペーン、大河ドラマ「平清盛」他のPRのためにひろしま宝しまレディ、来年開催される広島菓子博のPRのためにひろしま☆スイーツレディもそれぞれかけつけ、華を添えてくれた。

この行事を行うにあたり、関係者各位のご協賛・ご協力を戴き、紙面を借りてお礼を申し上げます。

湯崎知事がブランドショップを紹介

広島県東京事務所・各市東京事務所新任の方々

映画「アオギリにたくして」の中村里美さん、伊藤茂利さん、池永憲彦さん

応援歌「momiji」を全員で熱唱

司会の坂本祐祈さん

ピアノ演奏の長谷川さと実さん

ひろしま☆スイーツレディの
辻はるなさん、高野千恵美さん、栗山千穂さん

ひろしま宝しまレディの山下梨代子さん、小笠原知恵さん

フォーラム Forum 『ユネスコ世界遺産の今とこれから』第20回県人会フォーラム

第20回東京広島県人会フォーラムは、6月14日(木)、世界遺産総合研究所所長古田陽久（ふるたはるひさ）氏を講師にお招きし、広島大学東京オフィスにて開催、参加者は66名で大好評、講演会後の懇親会も大変に盛り上がりました。

世界遺産とは、地球上の「顕著な普遍的価値」を有する自然景観、地形・地質、生態系、生物多様性などの自然遺産、人類の英知と人間活動の所産をさまざまな形で語り続ける「顕著な普遍的価値」を有する遺跡、建造物群、モニュメントなどの文化遺産、自然遺産と文化遺産の両方の価値を有する複合遺産からなる。1972年の第17回ユネスコ総会で世界遺産条約が採択された。日本は1992年6月30日に世界遺産条約を受諾、125番目の締結国として仲間入りした。これまでに16件が世界遺産リストに登録されており、今後は「富士山」・「古都鎌倉」の登録が待望されている。現在、その数は世界第14位である。今年日本は条約締結20周年を迎えた。この機会にユネスコとの関わり、世界遺産条約の役割・意義、日本の国土づくり地域づくり・まちづくりの中での世界遺産の位置付け・防災を考え、国際平和と国土の安全と安心を改めて考える良い機会であると思う。

古田陽久先生

貴重なお話を聞かせていただき、有意義な講演会でした。その後、世界遺産という言葉が日常生活の中で頻繁に耳に入ってきます。（『世界遺産とまちづくり』から引用させていただきました）
（山田邦子）

総務部 Report 第17回学郷会　～講演と熱い議論の場～

学郷会は9月26日（水）、広島県東京事務所会議室で開催され、20名の参加者は講演を熱心に聞きました。講師と演題は、①文教担当の奥信知彦課長から「ことばの教育について」、②商工労働担当の松崎博幸課長から「？」、③環境県民担当の岡田裕子課長から「PEACE ARCH HIROSHIMA」です。

広島県では他県よりいち早く「ことばの大切さ」に取り組んでいること、「技能の習得（聞く・読む・話す・書く）」「能力の開発（考える・感じる・表す）」を目指し、着実に教育成果が上がっているそうです。「？」はクイズ形式で話が進み、それは「ひろしま菓子博2013（第26回）」のお話でした。菓子博は平成25年4月19日～5月12日(24日間)開催されますが、広島での開催は92年ぶり。集客目標80万人で是非足を運んでいただきたいとのことです。岡田課長の講演は世界平和の実現に向けての取組。平和や復興への願いをアーチ（弓）のようなしなやかさで時にアーチ（架け橋）となって世界中へ届け広げるという国際平和拠点広島構想を掲げています。

どの講演も内容が大変充実していて、参加者の熱心な質問や提案もありとても時間が足りないようでした。その後場所を「ケルン」に移して懇親会。さらに話は盛り上がっていました。講師の皆様、ご参加の皆様有難うございました。（山田邦子）

岡田裕子課長の講演

学郷会の講演風景

同好会 Report 同好会だより

初心者の方も、経験豊かな方も、ふるってご参加ください。

お問い合せ 県人会事務局
電話／03-3591-0028 FAX／03-5511-8803

テニス同好会 …… 世話人／藤瀬活子

テニス夏の陣 IN 軽井沢

今年も、広島県人会テニス同好会の会員13名（男6名、女7名）が参加して、昨年同様軽井沢「すずかる荘」に宿泊し、8月31日（金）9月1日（土）の2日間「すずかる荘オムニコート」にてテニス合宿を実施しました。

8月31日(金)12時テニスコートに集合、軽いウオームアップの後に紅白対抗戦を実施、気温21℃と言う真夏としては快適な気温の中でそれぞれ熱戦を繰り広げました。アフターはまず温泉に浸かって汗を流し疲れをいやしてから、夕食宴会次いでカラオケ大会を実施、「AKB48」から「裕次郎」や「岸壁の母」までそれぞれの年代を感じさせる歌やダンスで大いに盛り上がりました。ついで、部屋に帰ってからのテニス談義の反省会で深夜まで大いに合宿をしました。

初参加の前田さんと岡崎さん
（写真撮影：橋高淑夫）

翌日も午前中テニスの予定で、9時からコートにて練習を開始しましたが朝からの断続的な降雨で合間を見てはコートに入る状況でしたが、10時前から集中豪雨となり流石のオムニコートも水がたまりやむなく中止、午後のテニスも追求しましたが天候の回復が遅れ残念ながら13時をもって解散となり、来年の再会を約して帰路に就きました。

（服部幹雄）

写真撮影後雨に見舞われる合宿2日目
（写真撮影：橋高淑夫）

ゴルフクラブ …… 世話人／山本武司

県人会ゴルフには広い層の皆さんが参加されています。年齢では37歳～83歳、経験ではコースプレー3回目から年100回コースラウンドの大ベテランまでの76名のご参加をいただいた、恒例の「林CUP」争奪春季ゴルフ大会（通算35回）が、5月25日、春の景観映える京葉カントリー倶楽部で開催されました。

“ようきんさったのう”と、歓迎してもらい、皆さんは日頃の腕前を存分に発揮され、いつにも増して盛り上がりました。

プレー終了後の表彰式・懇親会ではいつものように広島の銘酒を前に交流の輪が広がりました。今回も皆様よりたくさんの賞品と銘酒をご協賛いただき、厚く御礼申し上げます。

県人会の皆様、春・秋のゴルフコンペにふるってご参加下さい。秋季は10月19日（金）飯能グリーンカントリークラブで開催いたします。

今回の大会で濱村毅さん（広島市安佐南区ご出身、76歳）がエイジシュートを達成されましたのでご紹介いたします。

エイジシュート達成の濱村毅さん

この度の県人会ゴルフ大会において、イン39、アウト37合計76で、今年8回目（通算37回）のエイジシュートを達成することが出来ました。成績は新ペリアで準優勝、ベストグロス賞、エイジシュートと数々の賞品をいただき有難うございました。私のベストスコアは68歳の時に廻った65、年平均100ラウンド、エイジシュートはシニアゴルファーへの「お祝い」で公式集計はないそうです。保険もありません。歳をとる毎に出やすくなるとも言われていますが、今は色んなコースでの達成証明を集めながら50回、100回と挑戦し続けてみたいと思っています。ホールインワンは偶然性がありますが、エイジシュートは偶然では絶対に達成できません。喜寿を迎えた私のゴルフ人生はまだまだ続きますが、人生の後半戦です。益々元気で、勇気を持って頑張っていこうと思います。

陶芸同好会

世話人／児玉裕司

無心になって粘土を捏ね、うつわを作る！

日本の伝統文化のひとつ“やきもの”をご自身の手で作ろうと、毎回、「テーマ」を設け粘土遊び感覚で作陶を楽しんでいます。現在は年６回、金曜日の夜に行っています。出来上がった作品が使えるのも陶芸同好会の目的のひとつ。前回の作品「パッチワークで作る皿」です。（写真）

作陶後には懇親会を行っています。無心になって作品を作り上げた後の一杯は格別。良いお仲間との語らいは郷土広島の話から芸術文化まで多義に渡り、親睦と交流の場として大いに盛り上がります。皆さまのご参加と応援をお願いいたします。

カラオケ同好会

世話人／漆谷憲康

今夏は暑い日が長く続いたような季節であった。例年の通り銀座の柳を愛でながら暑気払いを兼ねてのカラオケ大会を銀座“未來家”で８月４日に開催した。大勢の方のご参加で店内は満員となり、13時から食事をしながらスタート。飲み放題なので喉の方も調子が上がる一方で皆さん日頃の訓練が良く、途中から色々な歌が飛び出しプロ顔負け。

途中からイエス玉川師匠（三原市＝旧大和町出身、最近は玉川カルテットのリーダーも兼ね本来の浪曲にも磨きがかかり、９月22日NHKの東西浪曲選にも出演、10月12日浅草木馬亭で独演会）並びに呉出身の歌手谷龍介氏（三船和子事務所）も参加し、格調高いカラオケ大会のような感じがした。18時頃まで和気あいあいと進行しほろ酔い気分で散会、夏の日の良い思い出となりました。関係者の皆様、有難うございました。次回も盛大に。

青年部 Report 青年部だより

青年部委員長／田中高志

青年部では、引き続き定期的にイベントを開催しています。ソフトボール（６月予定。雨天のため延期）、カープ観戦（６月西武ドーム、８月東京ドーム）、バーベキュー（９月若洲海浜公園）とそれぞれ、盛り上がりました！！

カープ観戦はクライマックスシリーズに向けて応援にも熱が入りましたが、２試合とも残念な結果になってしまいました（サンフレは好調をキープしていますね！）。ただ、バーベキューもそうなのですが、Web経由や口コミによって毎回、初参加の方が増えており、少しずつネットワークが広がりつつあります。

次回は、６月の開催が延期されたソフトボール大会を検討・調整しております。12月には忘年会も予定しておりますので、今後のご案内を確認いただければ幸いです。

ご興味がある方は、以下のサイトよりご確認ください！皆さんのご参加をお待ちしております。

●青年部ブログ
http://seinenbukenjinkai.blogspot.jp/

● Facebook ページ
http://www.facebook.com/groups/hirokenseinenbu/

● mixi コミュニティ
http://mixi.jp/view_community.pl?id=506428

研修会 Report

24年度 夏季幹事研修会実施報告

活性部／祝武志

9月7、8日に行った研修会は広島県、広島市からの参加もあり、皆深く交流し、広島県人の自覚を深めた大変意義のあるものとなりました。

今回の行き先は　最近“あの日見た花の名前を僕達はまだ知らない”というアニメ作品の聖地として有名になり、韓国や中国からもファンが押し寄せている秩父でした。秩父神社を拝観した後、まつり会館にて、京都の祇園祭、飛騨の高山祭と並んで日本三大美祭及び日本三大曳山祭の一つ秩父夜祭について勉強しました。そこには巨大で迫力のある秩父祭屋台が展示してあり、是非参加したいと言う気分になり、自分は故郷の祭り“宮島鎮火祭”を思い出してしまいました。まつり会館見学の後、武甲酒造を見学し、今回の宿、和銅温泉・薬師の湯「湯の宿和どう」で旅で疲れた身体を休めました。

今回、広島県の酒造メーカー賀茂鶴、千福、中国醸造から協賛して頂いたお酒で夢心地になり、露天風呂で皆裸になり、肩書きを落とした素の状態で広島弁で語り合っていると、故郷から離れているのにまるで広島に居るかのような気持ちになりました。

今回の旅行で目玉となったのが“長瀞ライン下り”でした。全員で一艘の船に乗り込み、ゆっくりとスタートした船は、水しぶきを上げながらグングンとスピードを上げ、中にはずぶ濡れになる者もいました。見渡せばどの顔も笑顔！皆が無邪気に微笑んでいる姿を眺めていたら、ふと頭の中に浮かんで来たのが、今は亡き岡田名誉会長の仰られた言葉でした。「県人会は皆で集まって楽しくやるもの」。まるで岡田会長が天国から見守って下さっているような気がしました。

僕たちは広島と言う同じ船に乗っています。それは広島を離れても消えない気持ちです。それが東京広島県人会だと思います。自分はそんな気持ちを込めて広島県人会応援ソング“momiji”の詩を書きました。これから東京広島県人会に新たに入ってくる新しい仲間に、今回のような屈託の無い自然な微笑みが生まれるように広島県人の誇りを持って行動しようと強く思えた研修旅行でした。この旅に関係した皆さん、有り難う御座います！

観戦 Report

サンフレッチェ広島 vs 大宮アルディージャ観戦記

ロンドン五輪最終日目前の8月11日日曜日、大宮アルディージャの本拠地NACK５スタジアムにてJリーグdevision1第21節大宮アルディージャ vs サンフレッチェ広島の試合が行われました。今年も大宮アルディージャさんのご厚意で、県人会を通してゴールネット裏のチケットをお求めいただいた方に団体割引料金を適用していただき、試合開始前に選手との親子ハイタッチ企画も実現できました。ハイタッチ企画にはサンフレッチェ広島さんのご協力もいただいており、今後もこういった企画が続いていくことでそれぞれチームやサポーターも盛り上がっていくことを期待しております。

当日は予報通り雨。それでも試合が始まる頃には次第に小降りになりました。肝心の試合は、オウンゴールで広島に一点入った後、PKで同点にされ前半を折り返しましたが、後半開始早々、FKの後のプレーで清水航平のボレーシュートで追加点をあげ、そのまま逃げ切ってサンフレッチェが勝利しました。

この日、ベガルタ仙台が負けたため、広島が首位に再び浮上。10月９日現在１位と優勝圏内にしっかり留まっています。悲願の年間優勝を目指し、頑張れサンフレッチェ！

NEWS

日本最大のお菓子の祭典が92年ぶりに広島で開催!!

ひろしま菓子博2013

スイーツ姫

第26回全国菓子大博覧会・広島（ひろしま菓子博2013）が、来る平成25年（2013年）4月19日～5月12日の24日間、広島市の旧広島市民球場跡地を中心に開催されます。会場ではお菓子の芸術品である「工芸菓子」の展示や全国各地や海外のお菓子の試食・販売ができるほか、展示や体験型のイベントも開催されます。

今回の菓子博は「世界にとどけ！笑顔をむすぶお菓子のちから」のテーマのもと、「知る」「見る」「食べる」「買う」をキーワードに、お菓子の持つ人々を幸せにするちからを、様々な点から紹介します。

具体的には、お菓子の美術品「工芸菓子」の展示、もみじ饅頭の製造工程の見学やお菓子づくりを体験できるコーナー、全国各地や世界の銘菓がズラリと揃い、お買い物や試食も楽しめるコーナー、会場内限定のオリジナルスイーツが食べられるカフェ、茶道各流派によるお抹茶のお手前を楽しめるお茶席などのパビリオンなど様々な催しが企画されています。

●前売り入場券発売中！

「ひろしま菓子博2013」では、現在前売り入場券を発売中です。当前売り入場券は広島県内の人気の観光、文化施設などの割引券として使用できるなど、開催前から様々な場所で利用していただけますので是非ご活用ください。

詳しくは「ひろしま菓子博2013」のホームページをご覧ください。

http://www.kashihaku2013.jp/

【ひろしま菓子博 2013入場料金】（10/1～）

区分		前売り入場券	当日券	摘要
普通入場券	大人	1,800円	2,000円	満18歳以上の方（高校生を除く）
	シニア	1,400円	1,600円	開催最終日時点で満65歳以上の方
	高校生	1,200円	1,400円	
	小中学生	700円	800円	

かしなりくん

【お問い合わせ先】

第 26 回全国菓子大博覧会・広島
実行委員会事務局　入場券販売管理センター
TEL 082-511-1611

全国菓子大博覧会とは？

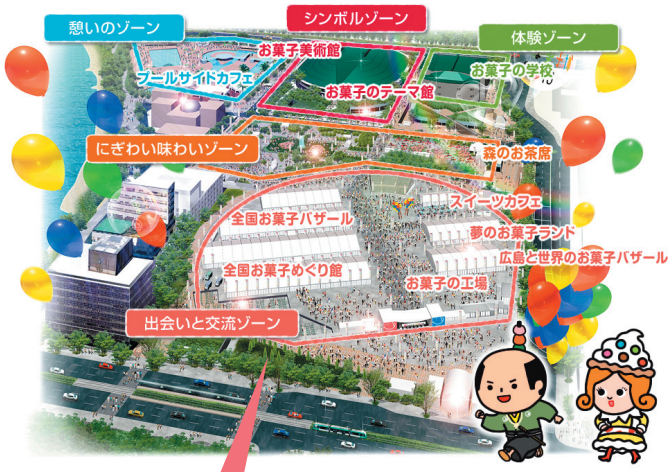
明治44年（1911年）の「第１回帝国菓子飴大品評会」から始まった「全国菓子大博覧会」。広島では大正10年（1921年）に当時の広島県立商品陳列所（現在の原爆ドーム）にて開催された「第４回全国菓子飴大品評会」以来92年ぶりとなります。

ほぼ４年に１度開催される当博覧会は、お菓子の技術を競う品評会的要素に加え、イベント要素も取り入れた日本最大のお菓子の祭典です。お菓子の包み紙に「名誉総裁賞」「内閣総理大臣賞」などと記してある賞は、この博覧会によるものです。

ひろしま菓子博2013
第26回 全国菓子大博覧会・広島

世界にとどけ！笑顔をむすぶ お菓子のちから

会期／2013年4月19日（金）～5月12日（日）
場所／旧広島市民球場跡地、
広島県立総合体育館とその周辺



気になる展示・イベントに注目！

◆お菓子のテーマ館
人々を幸せにするお菓子のちからを再発見できる体験型展示館（工芸菓子の技術で制作する1/15スケール（間口10m、奥行9m）の世界文化遺産「厳島神社」を展示）

◆お菓子美術館
全国の菓匠やパティシエが伝統の技を駆使して作った美しい工芸菓子の展示

◆お菓子の工場
もみじ饅頭の新旧製造工程の見学

◆お菓子の学校
お菓子づくりの技や知識を体験

◆全国お菓子めぐり館・全国お菓子バザール
全国各地の銘菓がズラリ。お買い物や試食も！

◆広島と世界のお菓子バザール
「広島」と「世界」をキーワードに多彩なお菓子が集合（生産量日本一の広島レモンを使った新商品「広島レモンスイーツ」を発表）

広島の今 Topics

ふるさと広島通信

三宅恭次（中国放送OB）

オリンピック、広島県出身選手は…

多くの方は時差9時間（サマータイム8時間）、眠い目を擦りながら観、職場では眠気をこらえながらの17日間だったのではないでしょうか？ロンドンオリンピックで繰り広げられた激闘は私たちに感動を与え、真夏の夜の夢物語の如く今も鮮明に甦ってきます。日本は金メダルこそ少なかったもののフェンシングでの残り一秒の奇跡、アーチェリー女子団体の銅、ボクシングの金…、どちらかといえばマイナーと言われてきた種目で健闘が目立ち私たちの耳目を引き付けました。

広島県出身の選手の活躍はどうだったでしょうか？出身地別名鑑によりますと7名です。

まず男子柔道60キロ級で銀メダルを獲得した平岡拓晃、北京でメダルなしで終わっただけに一応その雪辱を果たした形になりました。この他では美人ハードラーとして人気のある110m障害の木村文子、ファイナリストへの期待が掛っていましたが残念ながら予選で姿を消しました。アーチェリーの菊地栄樹、石津優。20キロ競歩の西塔拓己は25位。男子サッカーＦＷ永井謙佑、スペイン戦での快足ぶりは世界を驚かせました。３歳まで福山で過ごしています。陸上のトラック競技の花は何と言ってもあのボルトが二大会連続金に輝いた100mです。日本人は短距離では中々良い結果が残せていませんが、今回は修道から慶應大学に進んだ山縣亮太に期待が掛りました。予選では10秒07の自己新を出し予選６組で２位になり準決勝に進みました。しかし世界の強豪の壁は厚く高くファイナルに残ることが出来ませんでした。山縣は400mリレーでは第一走を走り予選突破の立役者になりましたが、決勝では５位に終わり、日本は二大会連続のメダル獲得はなりませんでした。山縣は現在20歳、身長176cm、体重68kgです。私と修道同期で「高校時代、100mはわしが一番速かった」と自称する友人は「山縣のフォームは実に綺麗で申し分ない。唯、ボルトやゲイ等に比べると如何にも軽量！今の体重では中盤以降加速しない。ウエイトを増やすと世界の強豪に伍して十分戦える」とのご託宣。いずれにしてもこれから少なくともオリンピックに３回は出れるでしょう。今後の伸び代に大いに期待したいところです。

山縣亮太選手（修道学園同窓会提供）

注目を集める広島県のブランド戦略！

最近巷で「えっ、デーモンがなんで？」「元猿岩石の有吉だ！最近また売れているよね」という声が聞かれます。実は彼らは広島県のポスターのキャラクターとして登場、注目を集めているのです。一連の動きはどうも「官製広報」とは一味違う、県の広報戦略が変わってきたのでは…？ということで広島県庁に広報課を訪ね、話を聞きました。

応対して下さったのは報道・戦略広報グループリーダー田中秀明さんと観光課、ひろしまブランド推進課、がん対策課の担当者の皆さんです。

――湯崎知事になって広報戦略は変わったのですか?

「そうですね。知事の指示のもと、まず戦略的に広報を行うために基本方針を立てるところから始まりました。その内容は、発信者中心の広報から県民起点に立った「伝わる広報」というものです。具体的には、広報に関する民間の専門的知識や実践経験のある方を広報統括監として招き、広報全般についてアドバイスなどをいただくこと。これにより、県として統一性のある広報が徐々に展開できていると思います」

「“広島”の認知度をまず首都圏で上げる必要がある、その為には全国的に著名な方をキャラクターに起用して情報発信していき、広島ブランドを構築していく…その第一弾が『おしい広島県』の有吉弘行さんの起用です」

有吉観光大使のPRポスター

有吉弘行：広島県熊野町出身。お笑いタレント。1996年、猿岩石時代にＮＴＶの「進め電波少年」のヒッチハイク企画で大ブレイク。しかし、コンビを解消後一時、不遇の時代があったが、2007年頃から注目を集め出し、『毒舌芸人』『イジリ芸人』として多くのバラエティ番組に出演。2011年度のテレビ出演総本数ランキング一位。広島県観光大使。

ポスターが所狭しと貼られた県庁窓口

――『おしい』のコピーもユニークですね

「広島の観光資源の認知度を調査したところ、原爆ドーム、厳島神社、牡蠣、お好み焼、尾道以外はあまり知られていないことが分かりました。広島には魅力的な観光資源がたくさんあるのに、それっておしい！よね、知られたらおいしいことが分かるよ、ということです」

「ウェブサイトやSNSを中心に発信しています。著名なCMディレクター江口カンさんに制作してもらった4分半のPR映像は、3月27日の記者発表の翌日にヤフーの映像ランキングで一位になりました」

――旧来の言い方ですと郷土物産館、東京・銀座に広島ブランドショップ「TAU」が7月16日海の日にオープンしました。これは広島弁の「たう」=「届く」ということですね。広島でも今の若い人は余り使わないのではないですか？

「いえ、そんなことはないですよ。使っていますよ。これに込められた意味は、首都圏はもとより全国の皆様の「たう（届く）」ところに広島の宝を提供したいということです。プレPRイベントとして湯崎知事が第一走者になり、東京までの900kmを自転車で51人が繋いで走りました」

「オープンから一カ月で約5万7千人の来館がありました。県人会の皆様方には、地下の瀬戸内ダイニング「遠音近音」や三階のイタリアンバール「パッチョ」を会合で利用していただいたり、お客様を御紹介していただくなど大変お世話になっています。広島県としてもイベントスペースを中心にまだあまり知られていないような広島ならではの『宝』を紹介、発信していきたいと考えております」

――『がん検診へ行こうよキャンペーン広島』のキャラクター、デーモン閣下の起用はちょっと衝撃的でした

「2年前から官民協働の『がん検診へ行こうよ推進会議』を設立して、検診受診率向上の為の施策を展開しているのですが、どうも県民の皆さん、自分のことと考えて行動して下さらない、我々のPRも十分浸透していないことが分かりました。どういうPRを展開したら受診率向上に繋げられるか検討した結果、説得力のある人にストレートなメッセージを呼びかけてもらうのが一番ということになりました。それにマッチングするキャラクターがデーモン閣下だったのです」

デーモン閣下：ロック、ヘヴィメタ系の楽曲を中心にした音楽活動、マルチタレントとして活躍。小学生時代に広島在住。金色の王冠をかぶり、白を基調にした顔貌。

がん検診キャンペーンポスター

デーモン閣下が県庁を訪問（7月6日）

――反響は如何ですか？

「7月6日に発表したのですが、当初、患者団体さんなどからクレームがあるかな、とも思ったのですが、それもありませんし、全体的には大きな反響をいただいております。この県民の皆さんの注目を他に行っている地道な取組につなげて、受診率を向上させたいと思っています」

――これまでの広報戦略全体について

「成果は徐々に見えてきています。斬新過ぎる、という声もありますが、それは裏返せば注目されていることだろうと思います。さらに県として統一性のあるキャンペーンを展開していきたいと思っています」

「今年の広島への入込客、対前年比プラス530万人を目指しています。実際どの程度まで行っているか定かではありませんが、目標達成に向けて頑張っていきます」

広島県のブランド戦略、東京からも「徐々に浸透してきているように思う」との声も聞こえてきています。知事の「首都圏でプロモーションを強化し、それを広島へ還流させる」との戦略は着実に実を結びつつあるのではないでしょうか。

NEWS 広島ブランドショップ「TAU」東京銀座にオープン

首都圏における情報発信の拠点となる広島ブランドショップ「TAU」につきましては、7月16日の海の日のオープン以降、大変多くの方にご利用をいただいております。

また、広島ゆかりの芸能人を起用した観光イベントや、カープやサンフレッチェの応援イベント、県産品の記者発表など、3Fのイベントスペースを活用し、広島の情報を強力に発信しているところです。

秋を迎え、旬の新鮮な果物・野菜のほか、新しい魅力的な商品も加わる予定となっています。

是非 、皆様お近くに御用の際には、「TAU」を訪れていただき、広島の魅力に触れるとともに、新たな広島の魅力を再発見してください。

●東京メトロ有楽町線 銀座一丁目駅6番出口／徒歩約1分
●東京メトロ日比谷線・銀座線 銀座駅A9番出口／徒歩約5分
●JR山手線 有楽町駅京橋口／徒歩約5分

盛大に! 華やかに! 鏡開き

ショップオープン時のうれしい行列

三原のタコとワタミがコラボ!?

サンフレッチェ応援イベントで躍動

痛快!カープイベント(トークショー)

お手軽レシピ Sweets 作ってみよう! 広島産グリーンレモンを使ったマドレーヌ

前42号でご紹介したグランドハイアット東京のパティシエ岡崎正輝さん（西条農業高校卒）による、広島のレモンを使ったご家庭でも簡単に作れるマドレーヌのレシピです。皮ごと食べられる安心安全な広島産のレモンで作ってみてください。

※広島産のレモンは銀座ブランドショップTAU１階で購入できます。

なお、岡崎さんの母校県立西条農業高校が、文部科学省より、将来の国際的な科学技術系人材を育成することを目的とする「スーパーサイエンスハイスクール」の指定を受けました。

【材料】 シェル型約15個分

卵	3個
砂糖	120g
薄力粉	100g
ベーキングパウダー	6g
バター（溶かしバター）	120g
バニラエッセンス	少量
グリーンレモン（皮のみ）	1個分

【作り方】

1. 卵と砂糖をすり混ぜる。
2. 薄力粉、ベーキングパウダーを一緒にふるって卵と混ぜ合わせる。
3. 溶かしたバターを少しずつ混ぜ合わせる。
4. バニラエッセンスとグリーンレモンの皮をすりおろしたものを混ぜる。
5. 型の中に流しいれ、180℃のオーブンで約15分焼く。

※焼き上がりの目安は、中心を押してみてふんわり戻ってくる感じ

3F TAUイベント・バールフロア

３階は、江田島市出身のオーナーシェフが地元の食材をふんだんに使って作るイタリアンを味わうことのできるイタリアンバールと広島の魅力を発信するイベントスペースがあります。

イタリアンバール パッチョ
TEL 03-5524-5560
ランチ 11：30〜15：00
ディナー 17：00〜23：00

1F TAUショッピングフロア

1階は、山と海に囲まれた広島県の「おいしいもの」が一堂に集合しています。穏やかな気候が育んだ「地元の味」を取りそろえています。今まで知らなかった広島の豊かな食材をお楽しみください。

TAUショッピング
代表 TEL 03-5579-9952
10：30〜20：00

2F TAU ショッピング・情報発信フロア

２階は、広島県の長い歴史が培ってきた伝統や技術が詰まったフロアです。酒処広島が誇る約300銘柄の地酒やワインを取り揃えています。また近年話題を集める「熊野化粧筆のセレクトショップ」が東京初出店し、広島のソウルフードお好み焼き「三匠」がございます。

熊野筆 セレクトショップ銀座店
TEL 03-6228-7813
10：30〜20：00

お好み焼き三匠
TEL 03-5579-9952
11：00〜22：00

広島酒工房 翠
10：30〜20：00

B1F 瀬戸内ダイニング

Ｂ１階は、広島産のこだわり食材を使用する創作和食レストラン。尾道や鞆の浦などの古い町並みをイメージした店内は、しっとり落ち着いた雰囲気を醸しだしています。ぜひ広島の「本物」の味をご賞味ください。

銀座　遠音近音（をちこち）
TEL 03-5579-9812
ランチ 11：30〜15：00
ディナー 平日 17：30〜22：30
（土･日･祝 17：30〜22：00）

広島ブランドショップ TAU
〒104-0061 東京都中央区銀座1-6-10 銀座上一ビルディング
http://www.tau-hiroshima.jp/

告知 Information 「県立賀茂高校同窓会」関東支部のたち上げ!

東日本大震災いらい、わたくしたちには金銭的な繋がりよりも、精神的な人間的な「絆」を大切にする風潮がより芽生えてきたようです。

東京の「広島県人会」の最近の盛況もその表れのような気がします。それに広島県人会の名簿にも在京同窓会が47校も掲載されており、その多さに驚いておりました。しかし、この47校の中に私たちの県立賀茂高校の東京同窓会は掲載されておりません。早速「県立賀茂高校同窓会」会長の黒川さんに有無を確認しましたところ、やはりないと聞いて、このままではいけないと思いました。

故郷の絆が大切だとみんなが思っているときに、故郷の高校の在京同窓会がないとは！そこで、わたしは「県立賀茂高校同窓会関東支部」を立ち上げることにしたわけなのです。

お蔭様で、今年の5月22日に（スカイツリーオープンの日）に「県立賀茂高校同窓会関東支部」を立ち上げました。個人情報保護法などの関係上、各方面の名簿が使えないので、身近な人への声かけからはじめたり、「東京広島県人会」の名簿の在京同窓会一覧にも掲載した結果、河内出身の笹川さんから早速お手伝いさせて下さいとお手紙を頂いたりなど、20人位の方々から承諾の通知をいただいたところです。

このような経過で動き始めたばかりの「県立賀茂高校同窓会関東支部」でございますが、どうかご賛同なさる方は以下にご連絡くださるようお願い致します。お待ちしております。

〒156-0057　東京都世田谷区上北沢 1-14-5-503
TEL・FAX 03-3306-6232
代表幹事　藤瀬活子（37 年卒）
E-mail　f_katsuko13@ybb.ne.jp

広島の力みなぎる [Company Profile] 企業プロフィール

田中食品

ホームページ http://www.tanaka-foods.co.jp/

弊社は明治34年（1901年）広島県呉市の中通りで漬物、缶詰の製造を始め創業いたしました。

大正5年頃に当時の陸軍・海軍から、持ち運びに便利な栄養価の高い食品開発の要請を受け、誕生したのが弊社のロングセラー商品、ふりかけ「旅行の友」です。商品開発の背景には「戦地で頑張っている兵隊さん達に栄養価の高いものを、いつでも美味しく食べてもらいたい…」という「子を想う親心」があり、この思いが弊社の伝統であり原点となっております。

広島工場外観

また2010年にはふりかけ「旅行の友」が、広島ならではの優れた特産物に対して与えられる“ザ・広島ブランド”として広島市から認定されました。

これからも創業当時から変わらず皆様に安全・安心で喜んでいただける商品提供ができるよう、食品を通じて社会貢献をして参ります。

田中食品のふりかけ商品

田中食品株式会社
創業／明治34年（1901年）
住所／広島市西区東観音町3番22号
事業内容／食品の製造・販売

スグル食品

ホームページ http://www.suguru-net.com/

1973年の創業以来おやつ、おつまみ、お惣菜の海産物加工品メーカーとして「新しい味を追求して未来へ」という企業理念のもと、業界をリードして参りました。「面白い！美味しそう！食べてみたい！」とお客様から言われるように日々工夫と改良を繰り返し地域と時代を反映した珍味を全国の皆様にお届けしています。

ベストセラー商品の「いかの姿フライ」はＰＢ商品を含めて、全国シェアの100％を広島県呉市で生産しています。現在は酒のおつまみ海鮮珍味にとどまらず、ポケット菓子やスナック菓子、さらには魚肉練り製品を中心としたチルド・レトルトなどの惣菜・具材がラインナップに加わっています。

また、地元のプロ野球球団「広島東洋カープ」の応援商品、「カープかつ」もファンの方のみでなく、新たな広島土産として定着しています。

2012年は大河ドラマの舞台となる呉市音戸の瀬戸にちなんだ「海鮮もみじ」を販売しています。

今後とも顧客第一主義をモットーに、お客様のご満足と信用を得るよう努力して参ります。そして「限りある資源を有効に活用して食文化の向上に努める」という夢の実現を通じて社会に貢献させて頂ければ幸いです。

姿フライ

海鮮もみじ

カープかつ

株式会社スグル食品
創業／昭和48年（1973年）
住所／呉市広多賀谷2丁目5番8号
事業内容／海産物を主原料とした「おやつ」「おつまみ」「おそうざい」の企画・集荷・加工・販売

NEWS 観光プロモーション「おしい！広島県」に新展開。県庁から12人の使者が立ち上がる？！

平成24年３月27日にスタートした広島県の観光プロモーション「おしい！広島県」。広島県には、魅力ある豊富な観光資源がたくさんあるのに、全国にあまり知られていないという「おしい！」現状にあります。広島の魅力をもっと県内外へアピールし、たくさんの人が広島を訪れ「おしい！」を「おいしい！」へ変えるために様々な活動を行っています。

●広島県庁『全力歓迎課！』が発足！

秋の行楽シーズンに向けた観光客誘致を強化するため、熱い志をもった県庁職員12名が立ち上がり、９月14日『全力歓迎課！』を発足しました。

12名のメンバーは、各地において全力でおもてなしを行うとともに、県内の魅力ある観光資源をPRしていきます。

９月14日に広島県庁において『全力歓迎課!』発足記者発表を行い、活動をスタート!

●『全力歓迎課！』の使命とは？

◆おもてなし活動

広島駅や広島空港での観光客のお出迎え、主要観光地での清掃活動、観光スポットでの記念撮影のお手伝いなど、県内各地で観光客の皆さまをおもてなししています。

◆イベントでのPR

県内外のイベントにおいて、観光資源の魅力をPRしています。

◆情報発信

「おしい！広島県」特設ウェブサイトにより、活動内容や観光資源に関する情報発信を行っています。

●特設ウェブサイトで、おいしい情報更新中！

「おしい！広島県」特設ウェブサイトでは、観光地や特産品を紹介する「おしい！名鑑」やおしい！委員会メンバーによるブログ、『全力歓迎課！』のキャンペーン映像や活動内容を情報発信しています。ぜひご覧ください。

おしい！広島県 検索 http://oc-h.jp/

告知 Information

ひろしま安芸高田神楽 第2回東京公演開催決定!!

今年度も東京で神楽公演を開催します。首都圏の皆さんにひろしま安芸高田神楽をご覧いただけるチャンスです。ご友人・お知り合いなど、大勢の皆様でお誘い合わせてご来場いただきますようご案内いたします。

平成25年1月19日（土）　日本橋三井ホール
東京都中央区日本橋室町２-２-１
COREDO室町 ５F
東京駅徒歩８分、
東京メトロ銀座線・半蔵門線「三越前」駅直結
出演／原田神楽団（安芸高田市高宮町）

■料金（全席指定）
おとな　3,000円
こども（小学生以下）　2,000円

■公演時間・演目（2 部公演／完全入替制）
１回目公演　14:00～16:00
「紅葉狩」、「八岐大蛇」
２回目公演　17:30～19:30
「大江山」、「八岐大蛇」

■その他
安芸高田市の特産品の販売をはじめ、神楽のDVDや各種神楽グッズの展示販売、また、神楽衣装の試着コーナーも設置します。

原田神楽団による「大江山」

神楽で福島県の皆さんを応援しました。

東日本大震災で、地震・津波・原発事故とそれに伴う風評被害という、幾重にも重なる災害に見舞われ、復興に向けて懸命に努力されている福島県いわき市・相馬市の皆さんに少しでも元気を出してもらおうと、平成24年６月24日と25日に、安芸高田市が誇る神楽を両市で公演しました。

上演したのは山根神楽団。両日とも「塵倫」と「八岐大蛇」の2演目を上演しました。「八岐大蛇」では、とぐろを巻いた8匹の大蛇との迫力ある戦いに大きな歓声が上がっていました。２日間で約900名の方にご鑑賞いただき、観客の中には、涙ながらに手を叩かれていた方もおられました。

福島応援神楽「塵倫」

ロンドン五輪 Olympic

広島ゆかりのロンドン五輪日本代表選手

内憂外患の日本に明るい話題を提供し、大いに活力を与えてくれたロンドンオリンピック日本代表選手の皆さん。中でも広島ゆかりの方々をご紹介し、記憶にとどめておきたいと思います。

■陸上男子
短距離／山縣亮太（修道学園卒、慶大　広島市西区）
競歩／西塔拓己（東洋大　江田島市）

■陸上女子
障害／木村文子（エディオン　広島市安佐北区）
競歩／大利久美（富士通　埼玉 ※４２号で紹介）

■アーチェリー男子
菊地栄樹（エディオン　広島県府中町）
石津　優（広島県協会　廿日市市）

■柔道男子
60キロ級／平岡拓晃
（了徳寺学園職　広島市南区　※近大福山卒）
100キロ級／上川大樹（京葉ガス　山口市　※崇徳高校卒）

■サッカー男子
FW／永井謙佑（名古屋グランパスエイト　福山市）

資料提供：中国新聞

特別寄稿

平和について考え、歌う意味を深く思う。

上西千波

2007年憧れのグラミー賞作品監督の元、N.Y録音作品でメジャーデビューするに至るまで、世界の舞台ばかりを見ていた私でした。

しかし、2011年の大地震の経験、そして故郷について考えるきっかけとなった「Homecoming day コンサート」、2012年広島県が大規模に行っている「ひろしま平和発信コンサート」に関わらせてもらったことをきっかけに、もっと深く、歌う意味や目的を考えるようになりました。

ジャズは100年以上の長い歴史の中で、沢山の戦争や社会問題に遭遇し、そして平和の音楽が生まれています。ベトナム戦争の時に作られた「この素晴らしき世界」、兵士が故郷へと続く汽車に乗り心を癒した「sentimental journey」、戦没したグレン・ミラーが夫人に残した「ムーンライト・セレナーデ」など。どれも、未来への希望を感じるあたたかな曲です。

ある日偶然新聞で目にしたひとつの記事。16ミリで撮影された80年前の「戦前の日本の風景」が広島原爆資料館に寄贈されたとの事。

それは、戦前移民した私の「カナダのおじいさん」（祖父のいとこ上西功一氏）からのものでした。上西功一氏は戦前“サムライジャパン”の精神を高く評価され、カナダ野球界で殿堂入りした伝説の野球チーム「バンクーバー朝日軍」のメンバーでもあります。

功一氏の父親が映していたその動画は、時代の荒波を乗り越えてきたものです。そこからは、「街の様子や時代は変わっても、平和であれば子供たちの笑顔は変わることはない」というメッセージが伝わってくるようでした。

昔の人から、私たちへ、そして子供たちへ。私はシンガーとして音楽にのせ、未来の人たちへ受け継がれたメッセージを伝えて行く事。また、音楽を通じて企業や社会に貢献して行く事が活動して行く中での“大切な事”としてプラスされました。

今年は故郷での「ひろしま平和発信コンサート」に関わらせていただいています。公演の中では、100人の子供たちと一緒に平和の歌を歌います。いつか1000人、10000人…になるといいですね。

● A thousand cranes　千羽鶴

作詞／上西千波　作・編曲／守屋純子

原爆の子の像のモデルとなった佐々木禎子さんを綴った本「Sadako and a thousand paper cranes（禎子と千羽鶴）」が世界で読み続けられる事を願い、復刊した守屋敦子さん。その思いを受け継ぎ、姪である守屋純子がペンを取った楽曲「A thousand cranes ～千羽鶴」に上西千波が歌詞を書きました。

世界的権威のあるセロニアス・モンクコンペティションでアジア人初、作曲賞を受賞した守屋純子さんの素晴らしい楽曲を、子供たちにも歌ってもらいたく、日本語でシンプルな歌詞にしました。

皆様で一緒に口ずさんで頂けると嬉しいです。心に映る戦前の穏やかな日本の風景と、変わらない子供たちの笑顔。そして戦争の悲しみを乗り越え、復興した人々の強い力に勇気をもらい書いた歌です。

2012年 ひろしま平和発信コンサート ～上西千波ジャズコンサート開催日程

- ● 6月22日　呉市文化ホール
- ● 7月21日　東広島市市民文化センター
- ● 7月22日　坂町町民センター
- ● 8月4日　海田町ひまわりプラザ
- ● 8月24日　尾道しまなみ交流館
- ● 9月29日　安芸府中生涯学習センター
- ●12月22日　福山市神辺文化会館

上西千波

ジャズシンガー/シーズプロジェクト代表

グラミー賞作品監督の元、世界のトッププレイヤーとN.Y録音しメジャーデビュー。CDはスイングジャーナル誌　2007年ジャズディスク大賞　ボーカル部門　国内部門　ノミネート作品となる。ソウルフルでありヒーリング的でもある魅惑的ヴォイス、ハートフルな魅力的なステージが人気で全国で活躍中。また、シンガーの枠を超え空間プロデューサーとして20代の早い時期に起業。社会や企業の中での音楽の活用に積極的に取り組み、音楽を通じ多方面で活動中。2011年には故郷をテーマにした「Homecoming　day」コンサートで高い評価を得る。2012年は故郷・広島県が開催する平和発信コンサートが数多く予定されている。

公式ウェブサイト　**http://chinamikaminishi.com**

個人情報保護のため、情報を非開示としております。

訃 報　ご冥福をお祈り申し上げます

元参議院議員、法務大臣、広島県知事であられた宮澤弘様（県人会理事）が５月26日に永眠されました。享年90歳でいらっしゃいました。

「原爆の子」などで知られる映画監督・脚本家で文化勲章受章者の新藤兼人様（県人会名誉理事）が５月29日永眠されました。享年100歳でいらっしゃいました。

お二方とも、分野は異なれど、広島を思い故郷のために尽くされた方たちでした。ここに謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

ホームページ Homepage 東京広島県人会の会員皆様の広場です

ぜひ県人会のホームページにもアクセスして下さい。首都圏在住の広島県人の方々、広島にご縁のある方々の広場です。催しのご案内、活動のご紹介等をしています。ホームページは「東京広島県人会」で検索をしていただければ、直ぐにヒットします。

デジタル投稿コーナー

東京広島県人会では、東京広島県人会ホームページ上に会員の皆様から寄稿して頂いた内容を掲載するデジタル投稿コーナーを開設しています。紀行文、随筆、詩歌、俳句、デジタル写真等何でも結構です。下記メールアドレスに送付していただければ、県人会ホームページ管理者がホームページに掲載いたします。皆様の奮っての参加をお待ちしております。　送付先メールアドレス　**toko@hiroken.gr.jp**

東京広島県人会ホームページ
http://hiroken.gr.jp/

編集後記

昔話になるが現役の新聞記者から新聞は危険な読み物だと聞いたことがある。現役の第一線の記者の話なので不思議な感じはしたが、意味が判然としないまま記憶の中には残っていたのである。最近になってやっとうっすらと理解できるようになったと思える。

しかし彼が言った意味と少し違うかもしれないが私の理解はマスコミの報道は報道する側と受け手（読者）のスタンスの違いによっては大きな誤差が生じるのだろうという結論に達しつつある。これだけ色々の情報が交錯する中では当然かもしれない。発信する側の責任は重大であることは当たり前のことである（最近は懐疑的にならざるを得ないと感じるのは私だけなのか）。

県人会ニュースを発行しながら反省を含めて正確な情報を伝えたいと考える昨今である。

追記：この原稿を書いている日はジャイアンツが優勝し、カープのクライマックスシリーズ進出が風前の灯火となった日。何かの因縁を感じる日でもあった。（ま）

東京広島県人会ニュース　第43号
第14巻　第2号　平成24年（2012年）10月17日発行
編 集 人／漆谷憲康
編集委員／重本ゆり、竹本直、好澤一穂、山本武司
制作・デザイン／濱田博文、後藤重毅
㈱民評社
印　刷／㈱総北海
発行人／松島和夫
発行所／東京広島県人会
〒105-0001
東京都港区虎ノ門 1-2-8
虎ノ門琴平タワー 22階
電話 03-3591-0028